

孀恋農場

並々ならぬ努力により発展し、全国に原原種を供給

■■■人々の暮らし■■■

「孀恋農場」は、ばれいしょ生産の安定性向上のために、必要なばれいしょ原原種の生産・配布を目的として1947（昭和22）年に種芋生産の適地である浅間山北麓、標高1,230m前後に位置する田代の地に設立されました。最低気温がマイナス15～20度となり、設立当初の作業は困難を極めました。関係者の努力により、この施設は発展を遂げ、全国各地にばれいしょの原原種を供給するなど大きな役割を果たしています。



旧事務所(現在は資料館)



じゃがいもを利用した郷土食の「くるこ」